

丹生山田の里の文化財と つくはら湖の さくらを巡る

丹生山田道は古代から、都に通じる山間の動脈として利用されたため、さまざまな文化が流入し、周辺には数多くの文化財が残されています。

北区の豊かな自然と文化財に恵まれた丹生山田の里と、志染川沿いの桜の名所を歩きましょう！



寿福寺 阿弥陀如来立像（市指定文化財）



六条八幡宮 三重塔（国指定文化財）



つくはら湖 志染川沿いの桜

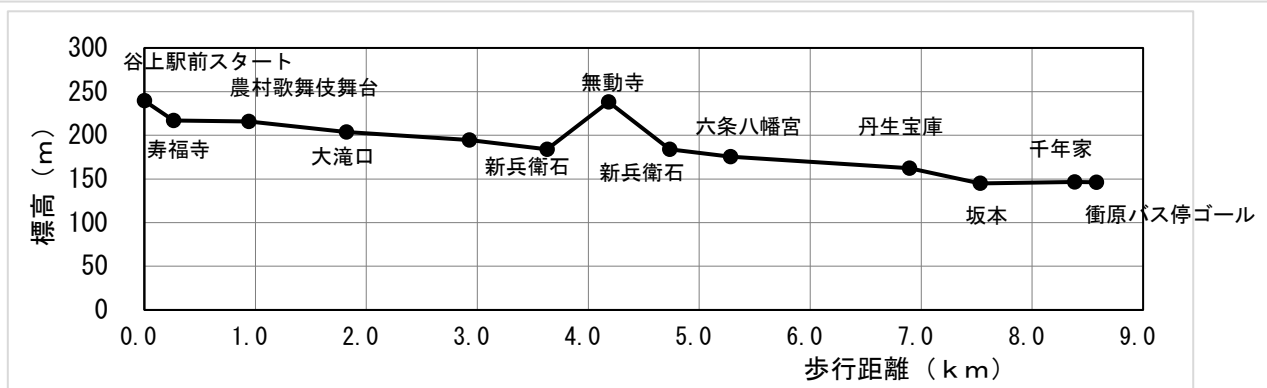


下谷上農村歌舞伎舞台（国指定文化財）



無動寺 大日如来（国指定文化財）

- 開催日：令和4年 4月 4日（月） （当日雨天の場合、4月6日（水）に順延し実施）
- 集合場所・時間：神戸電鉄 谷上駅 バス停付近；9時30分
- 解散：神戸電鉄 谷上駅 15時10分頃、解散 予定
- コース：谷上駅前＝寿福寺拝観＝下谷上農村歌舞伎舞台 回り舞台移動体験＝新兵衛石＝無動寺拝観＝六条八幡宮（昼食）＝つくはら湖のさくらの花見（解散）
市バス衝原 14時37分発谷上駅行き乗車；15時10分頃 谷上駅前 到着予定
歩行距離；約9km（歩行時間；約2.5時間；無動寺へは、少し上り坂あり、一般向きコース）
- 募集人数：30名程度（先着順；定数となりましたら、募集は終了いたしますのでご了承ください）
- 申し込み方法：3月29日（火）までに、各ブロック連絡委員へ申し込んでください。
申込時、氏名・連絡先（携帯電話番号）と、当日雨天の場合、順延日；6日の参加可否についても、併せてご連絡ください。
- 参加費：無料（無動寺拝観料300円、交通費は各自ご負担ください）
- 所持品：弁当・水筒・日よけ帽子・（雨具）・歩きやすい服装・筆記用具
- 注意事項：各自、体調管理には、十分ご注意ください。
新型コロナ感染予防のため、手洗いの徹底、密の場所では、必ず、マスクを着用ください。
歩行中は、フィジカル・ディスタンスを保って歩くことを心がけてください
- 雨天の場合：前日の4月3日（日）午後18時55分NHK総合テレビ気象情報で、兵庫県南部の午前中の降水確率が、50%以上の場合は、4月6日（水）に順延いたします。
- お問い合わせ：各ブロック連絡委員 または、北区会 会長 芦田 義和 090-1969-6692
緊急時の連絡先：090-6679-6930（担当 木田携帯）



主なコースご案内

医王山 寿福寺 	天平6年(743年:奈良時代)に行基によって開かれたと伝えられている。高野山真言宗の古寺。御本尊の木造薬師如来立像は、寺伝によると、行基が有馬温泉寺の薬師如来像の余材で造像したという。現存の仏像は、胎内の墨書名より、建治元年(1275年:鎌倉時代中期)の仏像で、県の重要文化財に、阿弥陀如来立像、聖観音立像は市有形文化財に指定されている。18世紀後期に建てられた茅葺の庫裏が市登録有形文化財になっている。これらの平安時代、鎌倉時代の仏像を拝観します。
下谷上農村歌舞伎舞台 	天津彦根神社境内にある歌舞伎舞台は、天保11年(1840年)再建との記録があり、国の重要有形民俗文化財です。回り舞台などの舞台機構の精巧さは他に類を見ない。特に花道の一部が反転して橋が出てくる仕掛けは全国唯一のものです。 下谷上農村歌舞伎舞台保存会会長からの説明と、回り舞台の奈落の見学や、皿回し式 回り舞台の移動の実演を体験します。
新兵衛石 	1770年頃、領内巡見中の下総古河藩主・土井大炊頭利勝の前に、石の陰から庄屋の息子、村上新兵衛が突然とび出して、村の実情を訴えました。直訴は大罪であるが、利勝は少年の勇気をたたえ、罪を問わず、年貢の軽減も聞きとどけられた。 村人はこの石を「新兵衛石」と呼び、少年の勇気の記念とした。
若王山 無動寺 	聖徳太子の創建と伝えられている古刹。本尊の大日如来座像は高さ278.5mの檜の一本造り。その他、平安初期から鎌倉期の特徴を示す釈迦如来座像、阿弥陀如来座像、十一面観音菩薩立像、不動明王座像と併せた5体の仏像が祀られている。 随筆家 岡部伊都子が「観光バスの行かない…埋もれた古寺」で「青年の目をした」と記された「大日如来」を拝観します。
六条八幡宮 	丹生山田の総鎮守社。平安中期の創建と伝えられ、本殿は貞享(1688)年再建。源為義が京都六条の左女牛(さめうし)八幡宮を分霊合祀したためこの名がついた。文正元(1466)年建立の三重塔は、境内にあった神宮寺である円融寺の塔で、国の重要文化財。毎年10月には、流鏝馬神事が行われる。訪れる頃、市民の木のイチョウの黄葉が素晴らしい。
箱木千年家 	大同元(806)年建築という記録があることから「千年家」と呼ばれているが、室町時代中期に建設されたと考えられています。入母屋造りの平屋建てで、国の重要文化財。部屋が畳割りではなく、板敷き、柱間が一定でない、前後の部屋境に板壁が入る特徴がある。 吞吐ダム建設に伴い、現在の場所に移築された。 入場見学は、希望者のみとします。